



ドキドキ！わくわく♪
ボクも今日から１年生だよ！

(上富良野小学校 入学式)

かみふらの 議会だより

第 86 号

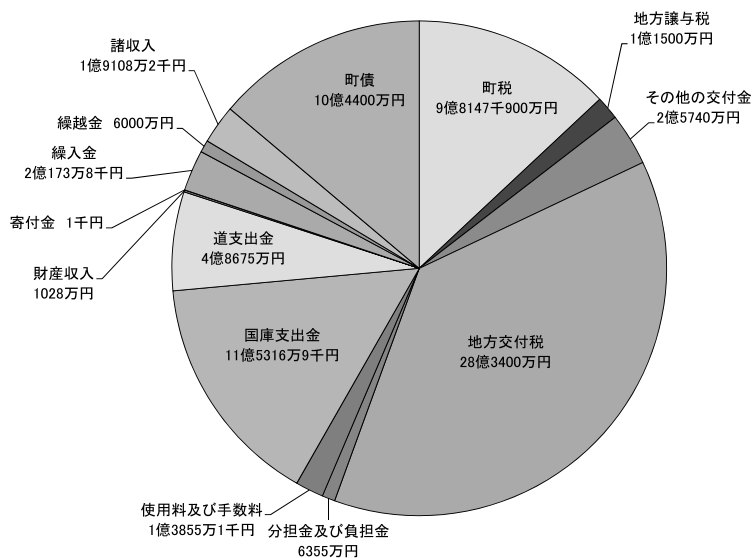
2015 年 4 月 25 日発行
発行 上富良野町議会

□第１回定例会 新年度予算を可決ほか	・・・	2
□ズバリ ここが聞きたい!! 一般質問４名の議員が質問!	・・・	10
□委員会のうごき 総務産建常任委員会	・・・	15
□「町のひと」にインタビュー!	・・・	18

予算に見据えた法律

歳入

自主財源である町税は国家公務員給与の特例措置の終了などによる個人住民税の増額、土地家屋の評価替えで固定資産税の減額を見込み、一般財源総額で45億3000万、国から交付される地方交付税は、1・4%減の28億3千400万円となり、全体では6・4%増額の75億3千700万円となりました。



一般会計75億3千700万円

前年対比 6・4%の増額に

3月定例会は3月3日から18日までの16日間の会期で開催しました。予算特別委員会では「町民が安心して暮らせる将来を見据えた予算」となっているか真剣な審議を行い賛成12名、反対1名で可決しました。一般質問は4名が行政に対して質問しました。

新たな事業
クローズアップ！

中央共同墓地造成 2千174万円

平成10年に整備した中央共同墓地の127区画が残り3区画となったため、新たに隣接する土地に127区画の墓地造成を行います。

27年度は63区画分を整備し、残りは今後の状況を見極めて整備を実施します。

小児の任意予防接種費用の助成

803万円

感染症の地域蔓延を防止するために小児任意予防接種費用の助成をすべての子どもに拡大します。

- ・ おたふくかぜ
- ・ ロタウイルス
- ・ インフルエンザ
- ・ B型肝炎

※インフルエンザワクチンのみ課税世帯は1千円負担。



平成 27 年度
新年度
予算

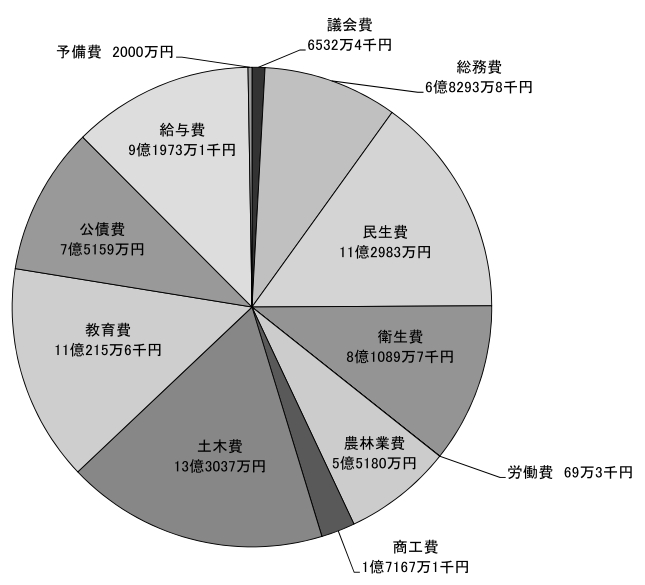
将来の財政規

歳出

一般財源の流動性を高め、投資的事業については事務事業評価制度に基づき事前評価を終えたうえで地域課題に対応した経費を確保するとともに、町営住宅（泉町南団地2号棟）の建て替え、上富良野小学校整備、上富良野中学校耐震化、中央共同墓地造成、公共施設の長寿命化などを計上しました。

■平成 27 年度各会計別予算額■（千円未満切り捨て）

会 計 名		27 年度予算	前年比
一 般 会 計		75 億 3700 万円	6.4%
特別会計	国 民 健 康 保 険	15 億 4181 万円	13.2%
	後 期 高 齢 者 医 療	1 億 3531 万円	1.2%
	介 護 保 険	8 億 8715 万円	6.3%
	ラベンダーハイツ事業	2 億 9196 万円	▲ 2.3%
	簡 易 水 道 事 業	8747 万円	27.8%
	公 共 下 水 道 事 業	3 億 7908 万円	▲ 23.7%
企業会計	水道事業	収益的収支 1 億 7354 万円	1.0%
		資本的収支 9599 万円	▲ 9.4%
	病院事業	収益的収支 9 億 2271 万円	▲ 3.4%
		資本的収支 5426 万円	124.8%
合 計		121 億 631 万円	4.9%



※端数整理しているため、額は整合しません。

現在、「農地・水保全管理支払交付金事業」として水田を対象に取り組んできました。

しかし、平成27年度からは事業の対象を全農地に拡大し、農村環境の向上につなげます。

また、事業の法制化により、事業名が変更になりました。



上富良野中学校改修

7 億 79 万円

多面的機能支払交付金事業

1 億 3 9 2 万円

校舎の老朽化のため、平成27年度から2年間で耐震ブレースと耐震壁による耐震補強と屋根や床の改修、天井断熱の補強、生徒用トイレの全面改修などの大規模老朽改修、防音サッシ更新や壁・天井の吸音材更新などの防音機能復旧整備を文部科学省と防衛省の補助事業として実施します。

また、28年度からは特別教室棟の改築と改修が予定されています。

削減を否決

賛成5名、反対8名 1名削減を否決

議会では昨年から議員定数と報酬について各種団体や住民会長と懇談会を開催してきました。延べ31名のアンケートの結果では約7割が定数を減らすべきという結果になりました。

それを受け、佐川典子議員から「地方自治の牽引役を議会が率先し、先を見据えた改革が必要。行政や議会に強い関心を持たれた多くの町民の定数削減の声を重く受け止めたい。」「人口規模や他町村の議員定数の動向を比較し、勘案した結果、自治基本条例に基づき、町民のための意志の反映や信託に応える議会活動を遂行すべき。」などの理由により、議員定数1名削減の発議が出されました。

しかし、定数を減らすと広く町民の意見が聞き取りにくくなる可能性や財政効果がわずしか得られないという反対の意見が出され、25名以上の傍聴者が見守る中、賛成5名、反対8名で否決されました。



討論

― 反対 ―

金子議員

上富良野町議会は、平成19年に議員定数を4名削減し、絶大な財政削減効果があった。わが町は、農業、商工業、観光業に加え自衛隊といった複雑な産業構造で、大規模な小中学校や特認校も持ち、町立病院、ラベンダーハイツも運営するなど、本来ならば幅広い人材が求められる。

しかし、財政改革をするなら、1名削減では無く4名削減ならば効果を期待できると考える。今回の1名削減の提案理由があまりにも不明確で、質疑に対し説明が不十分で、議論不足でもあり時期尚早と判断して反対する。

今村議員

議会と行政は自治体運営の両輪であり、議会縮小でそのバランスが崩れれば、監視や政策修正という機能が失われ緊張感を欠いた行政を招く恐れがあり、そんな事態は避けねばならない。地方分権が進み、町民に最も身近な町の行政の重要度は増している。そして、町には自衛隊が駐屯し、共存共栄を方針としており、他の類似町に比べ行政業務が増加しているなど、それらに見合った議員定数を考慮する必要があること。また、多様な意見を幅広く求める必要があること。常任委員会の少数意見が可決される確率が上がってしまうことや編成に問題があること。定数の削減が、必ずしも議会・議員の質の向上につながらないこと。などの理由により定数1名削減に反対する。

議員定数の



質 疑

町民の声は？

問 議員を削減することで広く町民の声を聴くことができないのではないか。

答 町民の声を聴くのに、単に「数が多ければいい」や「1千人に1人」という規定はなく、議員が自ら判断して変えていくことだと考えている。

問 町民は議員の質の低下や規律を守らないなど、議会に對し不信感を抱いている。それらを解消することが先ではないか。

答 主権は町民にあり、前回の選挙で無投票になりかけたことが原因。町民の理解を得るためにも町民の望む定数削減が必要。

問 定数が奇数になると、議決の際に賛否同数になることが増えると考えられ、その場合は議長の裁量にゆだねられる。そのため、議長の権限が強く及ぶことになるのではないか。

答 他の議会でも定数が奇数の所もあり、議長のスパンに変化が生じるとは思えない。

財政効果は？

問 一名減の場合の財政効果はどの程度見込んでいるのか。

答 年額報酬などでは370万円程度と考える。

目指すものは？

問 定数削減と合わせた議会改革についてどのように考えるか。

答 人数が多ければ、現在の状況が変わるという事ではなく、議員個々の質が問題であり、それぞれの議員が取り組んでいかなければならない。

— 賛 成 —

村上議員

上富良野町自治基本条例が平成21年に制定され、その中に「議会の役割と責務」とある。議会はその持てる機能を十分に駆使し、広く町民に明らかにする責務を有している。そのため、議会では改革の一端として開かれた議会を目指し、これまで議会報告会を5回開催している。

今は人口減少、少子高齢化の時代であり、自己決定・自己責任の時代。町民の納得と協力がなければ政策効果は期待できない。課題が多い今こそ住民の方は議員力を求めていると考える。そのため、まずは1名を削減することを決め、議員定数条例の一部を改正する条例に賛成する。

中村議員

多くの議員は立候補の時に「皆様の声を町政に反映します」と公約している。

その具体的実践活動は①皆様の声を聴く、見る②町政への民意の反映は「定例議会などで議案資料を精査し、積極的発言」「定例議会一般質問」「常任委員会や全員協議会での積極的な発言」としている。しかし、その積極的な行動がみられない議員もいるのも事実である。いかに議員の質を上げる努力が必須である。現状では定数1名削減は民意と判断し妥当である。

常任委員会は地方自治法改正で1人1委員会所属から複数所属も可能となり、所管課も含め検討すべき事項と考え、賛成する。

このほか、米沢議員が反対討論を行いました。

補正予算

一般会計補正予算を可決

平成26年度一般会計補正予算の主な内容は、地域の住民生活を支援するためのプレミアム商品券発行事業や災害関連情報・地域住民や観光客などへの情報提供・発信を行うためのWi-Fiステーション整備事業、将来のまちづくりの人材育成を図るための人材アカデミー事業など、1億8千447万8千円を増額し、総額を74億5千844万円とする補正予算を可決しました。

■ 3月補正予算の状況 ■

会計名		補正額	総予算額
一般会計		1億8447万8千円	74億5844万円
特別会計	国民健康保険	3011万2千円	13億9141万9千円
	後期高齢者医療	175万7千円	1億3061万7千円
	介護保険	95万8千円	8億5600万5千円
	ラベンダー・ハイツ事業	24万円	3億106万8千円
	簡易水道事業	▲145万1千円	5774万4千円
企業会計	公共下水道事業	▲409万3千円	4億8175万5千円
	水道事業	収益的支出 0円	1億7182万2千円
		資本的支出 ▲798万9千円	1億1548万4千円
	病院事業	収益的支出 0円	9億5552万9千円
		資本的支出 17万5千円	3580万9千円

質疑

プレミアム商品券発行？

問 プレミアム商品券販売などのスケジュールは、

答 町内の購買力を考慮し、一度にすべて販売せず、5月に販売し8月まで有効な券と、10月に販売し1月まで有効な券を2回に分けて販売する。

販売総額は1億4千500万円。そのほかに、子育て支援として子育て世帯へプレミアム商品券500万円分を給付します。

Wi-Fiはどこ？

問 Wi-Fiステーションはどこに設置する予定ですか。

答 日の出公園展望台や日の出公園ロッジ、オートキャンプ場、深山峠ラベンダー園、深山峠展望台、見晴台情報ステーション、千望峠、ジェットコースターの道、白銀荘、草防災センター、泉栄防災センター、セントラルプラザに設置する。上富良野駅の常設については、JRに要望しているものの、設置の予定はない。

各特別会計

補正予算を可決

各特別会計の平成26年度の事業に対する交付金の確定や介護保険システム改修事業費や寄付金の増額などにより、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計などの4特別事業会計は増額の補正を行いました。

簡易水道・公共下水道事業特別会計は事業費などの確定に伴い減額し、備品購入のための寄付があった町立病院事業会計は増額する補正予算を可決しました。

意見書を国などに
提出しました

農協関係法の見直しについての意見書

農協関係法の見直しは、地域農業・農村の持続的発展を図るために①食料の安定供給と地域の振興を明確に位置づけること。②正組合員のパートナーである準組合員の利用制限は行わないこと。③JA・連合会の協同組合員としての事業、組織を制約しないことなどを求める意見書です。

労働者保護ルール

改悪反対を求める意見書

労働者保護ルールの改正は、労働者の意向を考慮し、派遣労働者の安定した直接雇用と均等待遇に向けた制度の整備を進めることなどを求める意見書です。

年金積立金の専ら被保険者の利益のための

安全かつ確実な運用に関する意見書

年金積立金は被保険者の利益のため安全で確実な運用に努めるとともに、安全資産といわれている国内債券中心の運用を継続し、株式などへの割合を高める急激な変更は行わないよう求める意見書です。

条 例

職員を法人などへ派遣

するための条例を制定

地域の振興や町民の生活向上への諸施策の推進と円滑な業務実施に資するため、町職員を公益的法人等に派遣する制度などを定めた「上富良野町職員の公益的法人等への派遣等に関する条例」を制定しました。

この条例では、職員を派遣できる団体や派遣先団体との勤務時間などの取り決め事項、派遣職員の給与や復職時の処遇などが定められました。

教育行政に関する条例を整備するため、条例を制定

国の法律改正に伴い、教育長の任命や身分、給与などの勤務条件、職務の内容が変更されたことにより、関係する条例の整備として「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例」を制定しました。

教育長が特別職の位置づけになり、現在の教育長の任期（平成29年9月30日）が満了した後から教育委員長と教育長が一本化されます。

また、教育長の給与は月額55万5千円で

「特別職の職員の給与に関する条例」に加えられ、「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例」で教育委員会委員の報酬額は一律3万3千300円となります。



教育委員会が入っている社教センター

27年度から29年度までの

介護保険料が改正

介護保険法の改正と第6期介護保険事業計画（平成27～29年度）の策定により、介護保険料率の見直しと介護保険事業運営の安定化を図り、新介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な移行に向けて保険料の見直しや公費による低所得者の軽減などを行うため、「介護保険条例の一部を改正する条例」を可決しました。

低所得者（第1段階）の保険料は基準額の50%負担から45%負担に軽減されます。

改正前	年額	改正後	年額
第1段階	23,700円	第1段階	24,300円
第2段階	26,000円	第2段階	35,100円
第3の1段階	30,800円	第3段階	40,500円
第3の2段階	35,500円	第4段階	45,900円
第4の1段階	37,900円	第5段階	54,000円
第4の2段階 (基準額)	47,400円	第6段階	64,800円
第5段階	59,200円	第7段階	75,600円
第6段階	66,300円	第8段階	86,400円
第7段階	71,100円	第9段階	91,800円
第8段階	85,300円	第10段階	97,200円

27年度予算を 徹底審査！

—歳入—

ふるさと納税

Q アベノミクスなど景気が好転しており、国もすすめている「ふるさと納税」を積極的に取り組むことはできないか。

A 都会から地方に納税されるという本来の趣旨を外れ、納税に対する特典目当てや、地方同士の取り合いのようになっており、慎重な対応が必要。全く取り組まないという事ではなく、必要に応じて検討する。

—歳出—

上中耐震改修

Q 耐震改修工事の着工と完成は。

A 今年6月ごろに入札着工し、仮設校舎建設、校舎改築、一部新築、仮設校舎解体、外構工事などを行い、平成28年12月には完了する予定。

日の出公園

Q 山頂からの巡回路はどのように整備されるのか。

A 平成27年度に実施設計し、平成28年度に完成する予定。上り下りの車両がすれ違わないよう、日の出公園西側の旭日道路に降りるよう考えている。



日の出公園巡回路予定地

街中にぎわい事業

Q 昨年、中央コミュニティ広場に設置した大型テントの今年の活用は。

A 照明器具やセンサー、トイレ改修など、施設の充実や整備を図り、街中に人の動きができるような様々な利活用を促していきたい。

農業後継者

Q 農業後継者対策と花嫁対策の実施状況は。

A 担い手サポート事業で平成21年から22名が後継者として助成を受けている。花嫁対策はアグリパートナー協議会で富良野地方では年2回婚活パーティーなどを実施している。

中央共同墓地

Q 新規造成は傾斜や段差など高齢者などに配慮した設計となるのか。

A 既存の墓地と同じように平らになるよう造成し、スロープなど高低差が少なくなるよう配慮する。

ジオパーク

Q 十勝岳ジオパーク協議会の負担金と活動の内容は。

A 自然環境などを有効に活用し、観光振興・地域振興に資することがジオパークの目的であり、十勝岳の自然・景観・環境を活かすよう美瑛町とともに360万円ずつ負担し、平成28年度の認定を目指して講演会や申請旅費などの予算を負担。

おしえて!!
『ジオパーク』ってなに？

地球活動の遺産を主な見どころとする自然の中の公園のこと。道内では、洞爺湖有珠山、アポイ岳、白滝、三笠、とかち鹿追が日本ジオパーク委員会で認定されている。

企業誘致

Q 企業振興補助で既存企業への支援をしている。新規企業誘致などはどのように取り組むのか。

A 昨年、町内の食肉加工場の規模拡大など、企業振興補助での雇用等への効果は大きい。既存の企業を大切にしながら、新規企業誘致についても従来通り取り組んでいく。



新年度予算に意見を付す！

各会計予算に対し、12項目の審査意見を町長へ提出しました。

〇歳入

ふるさと納税

自主財源を確保するため、地方創生の視点を取り入れ、先進事例を参考に内容の検討を。

〇歳出

防 災

① 自主防災組織

組織の活性化を進め、各地域の要支援者名簿を早期に整備し、適切な運用を図り、情報の共有を。

② 防災士

取得者の研修や講習など地域の実情にあった活用支援を。

③ ハザードマップと

防災ハンドブック

作成は、近年の気候変動による自然災害に対応するよう努められたい。

④ 災害備蓄品

細目にわたり計画的に早期整備を図り、適切な更新を。

演習場周辺地区

整備対策事業

適正かつ早期に事業実施を行い、効果的な執行を。

定住・移住

引き続き、移住準備住宅を有効活用し、PRや様々な施策も含め雇用の場の確保を図り、移住しやすい環境づくりを。

市民後見人制度

高齢者や障がい者、認知症の増加が見込まれる中、計画的に市民後見人養成を。

学校閉校後の

跡地利用

早急に施設の有効な利活用の検討を。

有害鳥獣対策

シカ被害の増加防止のため、猟友会員の諸経費負担軽減対策について検討を。

6次産業化

地場産品による上富良野ブランドの確立を図り、6次産業化への支援の推進を。

健康づくり

「健康づくり推進のまち」宣言に相応しい具体的な事業の推進を。

観 光

町の観光資源の魅力を活かした独自の観光振興を。

国民健康保険

特別会計

① 医療費を抑制するため、データヘルス計画を活かした予防に努められたい。
② 国保会計は脆弱な財政基盤の上にあるので、保健福祉課との連携をさらに深め、病状の重度化を防ぎ、安定かつ健全な運営を。

病院事業会計

町民の健康と生命を守るため、今後も安定的な医療スタッフの確保に努められたい。

討論（一般会計）

反対（米沢議員）

地方の景気は上向きにならず、私たちの暮らしに大きな負担となっている。

本予算では地域の振興を目的として演習場周辺地区の活動奨励事業補助金の限度額と補助率が引き上げられた。地域の振興が目的であれば、その財源で第2子目の保育料の軽減をすべきである。防災備蓄品の充実や任意の予防接種補助の充実など改善が見られるものの、特色あるまちづくりにつながる政策が弱い。

また、国の軽減措置が拡充されたものの、介護保険料の引き上げが加入者にとって負担の限界にきている。一般会計からの繰り入れを増やすなど、引き上げ幅を抑制すべきである。以上のことから一般会計予算に反対する。

賛成（岡本議員）

アベノミクスによって経済指標が上向きを示したものの、依然として厳しい状況が続いている。地域経済の活性化や住民ニーズなどに対応するため、前年比6・4%増額の約75億3千700万円の予算編成内容となった。

真に支援が必要な方々への恒久支援策や様々な地域課題、少子高齢化対策、大雨災害に対する恒久的な復旧対策、学校の耐震化などに目配りされたものとなっている。

必要性や緊急性を見極めた本予算は様々な諸課題がある中で不断に取り組むことが期待される予算編成となっているため賛成する。

ズバリ ここが聞きたい！

一般質問



一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
11	村上 和子 議員	① 認定こども園の設置など新制度の取り組みは ② 「早期発見・早期治療」を認知症対策の最優先課題に
12	中澤 良隆 議員	① 6次産業化の現状と今後の取り組みについて ② 人口減少社会に対応した町づくりについて
13	米沢 義英 議員	① 地域包括ケアシステムについて ② 保育料の軽減について ③ 観光振興について ④ 社会教育総合センターの使用について ⑤ 児童の放課後対策について
14	中村 有秀 議員	① 住居表示板の更改整備等について ② 日東会館のバリアフリー化と施設の改善について ③ 日の出排水路の早期改修について

— 上富良野町行政ホームページ —

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/>



子育
て

—村上 和子 議員—

認定こども園の設置など新制度の町の取り組みは 4つの施設すべてで 認定こども園への移行を目指す（町長）



元気に歌う高田幼稚園の園児たち

村上議員 町内には幼稚園1園と保育所が3園ある。子ども・子育て支援制度のもとで学校教育と保育の機能を総合的に提供する機能を備え、基準を満たす施設は「認定こども園」として運営できる。保護者が働いている、いないにかかわらず利用できるほか、幅広い選択ができる環境が必要である。町としてどのように取り組むのか。

向山町長 4月から保育所3園は新制度に基づいた特定保育施設として運営される。しかし、幼稚園は従来通りと確認している。町としては保護者の就労状況に関わらず、教育、保育を一体的に提供できる施設として評価し、事業者の意向を十分尊重したうえで4つの施設すべてが「認定こども園」に移行することを目指す。移行にあたっては利用者のニーズと合せて施設整備や職員の確保など、円滑に移行が進むよう事業者と調整に努める。

介 護

検査機器を使った「早期発見」と 「早期治療」を優先した認知症対策を 重要な課題と認識しており、 検査機器も一つの策として研究する（町長）

村上議員

認知症を発症

「早期発見」「早期対応」は重要な柱とし、認知症にならない早期からの健康づくりなどを掲げた。タッチパネル方式の認知症検査機は一部の医療機関で利用され、将来的には多くの自治体にも普及が期待されている機器であり、当町の認知症早期発見に向けた一つのツールとして研究する。

向山町長 第6期高齢者保健福祉計画において

「早期発見」「早期治療」により進行を遅らせ、治るとすれば、財政的な問題はあるものの、町としても最優先課題として取り組むべきでは。



「ふくしん」でのデイサービスのようす



—中澤 良隆 議員—

農業を元気にするための6次産業化は 情報発信と異業種交流を進める（町長）

産
業



日曜の朝に賑わう軽トラ市

中澤議員 基幹産業の農業が元気でなければ、町の活力・活性化はないと考える。そのため第6次産業化をどのように推し進めるのか。

向山町長 第6次産業化の取り組みは活発化してきている。町としては情報提供や支援制度の強化に努めていく。作物の選定については、行政が特定の作物を選定し、推奨していくことには課題があると考えているが、地場農産物のブランド化は

積極的に推進する。

中澤議員 第6次産業化には、事業者が自ら行うものと、農業全体の底上げを目的に行うものがあると考えられる。行政の役割とスタンスは。

向山町長 6次産業化の主体は、農業者や事業者が一体となつて取り組む事業であると考えている。町は、事業者への情報発信と異業種交流などの支援強化と環境整備に努めていく。

行政

人口減少社会に向かつてのまちづくりは 対話を進め、実効性の 高い対策を進める（町長）

中澤議員 日本創成会議

の発表によると、全国の1千800市町村のうち896自治体が2040年には消滅する可能性が高いという大変衝撃的なものだった。

町でも人口減少は避けて通れないと考え、2040年の町の推計人口は、また、人口減少による主な影響は。

向山町長 2040年の

人口推計は8千89人で、人口移動が収束しないときは6千968人と推計されている。

人口減少は、産業の縮小、地域の活力低下、高コスト化による財政への影響などが大きいと考えられることから、人口減少を防ぐために、どのような取り組みが必要なのか真剣に向き合わなければ

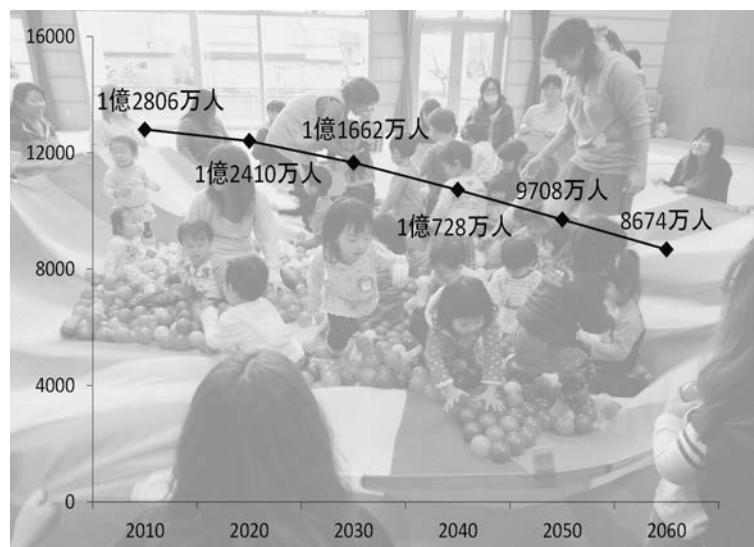
ばならないと考えている。

中澤議員 人口減少社会に向かつての具体的な対策と、その進め方は。

向山町長 当面は「地方版総合戦略」を策定する中で、より具体的・戦略的に福祉施策、子育て支

援策、定住移住対策、産業振興策などの計画を策定する。

また、人口減少社会を見据えた中で、町民の方との対話を進め、実効性の高い対策に取り組んでいく。



右肩下がりが見込まれる日本の人口



観
光

—米沢 義英 議員—

季節を体感できる体験型観光の充実を 体験型観光は観光誘客に有効だと

認識している（町長）



かんじきツアーのようす

米沢議員

最近の観光は

四季を体感できる体験型
の観光が喜ばれている。

今後、冬期間などの観光
の在り方を地域と連携し
て充実を図るべきでは。

向山町長

町は観光振興

計画の具体化に向けた作
業を進めており、地域の

魅力の掘り起しや町内に

滞留して頂くためのメ

ニュー作りを行っている。

また、一般の方々を始

め、旅行関連会社の営業

担当者や外国人を招へい

し、体験型のモニターツ

アーを実施している。モ

ニターツアーでは、町の

特産品である「ホップ」

に関する学習や栽培農家

の見学を行い、参加者か

らも高評価を得ている。

冬期間の観光振興も十

勝岳を活かした様々な観

光プログラムの構築を行

い、冬季観光の振興策と

「十勝岳ジオパーク」の早

期認定を目指したい。

健 康

健康増進のために

社教センターの無料開放を

具体的な検討を進めたい（教育長）

米沢議員

多くの町民が

健康を維持するために、

社会教育総合センターを

利用している。町民の健

康増進対策としてジョギ

ングコースなどの無料化

や無料開放の期間を設け

るなどの検討が必要では。

服部教育長

社会教育総

合センターアリーナは、

町民のスポーツ振興と健

康増進のため、多くの方

に利用いただき、平成25

年度実績では、6万1千

263人の利用となつて

いる。

児童生徒は無料、障が

いのある方や70歳以上

の高齢者の方は5割減免

各団体の定期利用や大会

においても、減免基準を

設け負担の軽減を図って

いる。

老人クラブ連合会

ウォーキングクラブが午



社教センター ジョギングコースのようす

前中にジョギングコース

を利用し、利用者も年々

増加している。

昨年は町の「健康づく

り推進のまち」宣言の記

念行事として、2月9日

から1週間、体育館の無

料開放を実施した。

一定期間の無料開放な

どはスポーツ振興や健康

づくりのきっかけづくり

に効果が上がると考えて

おり、具体的な検討を進

めたい。

—中村 有秀 議員—

消滅・損耗している「街区・住居表示板」更新を 本年度に実態調査を行い 平成28年度に更新する（町長）



中村議員 住居表示条例

による「街区表示板」と「住居番号表示板」が設置されて33年が経過し、表示板の消滅と損耗があり、平成17年と18年に更新整備された。その時に更新されなかった表示板を含めて更新が必要なものがある。相当数ある。四季彩の町に相応しい整然とした区画番号表示された街にするために、実態調査実施と更新整備について伺う。

向山町長

設置されてから33年が経過し、消滅と



損耗がひどく、わかりづらい「街区表示板」

汚損が多くみられることから、平成27年度に全域調査を行い、その結果をもとに平成28年度に更新作業を行う。

中村議員

町の角々に設置されている「街区表示板」の消滅と損耗が多く見られ、平成27年度中に更新するべきでは。

向山町長

「街区表示板」はここがどういう場所なのか必要なので優先順位として考えたい。実態調査に基づき期待に応えられるように取り組む。

防 災

集中豪雨に備え

平成27年度に調査し、

平成28年度に工事着工の予定（町長）

中村議員

平成23年9月の集中豪雨で日の出排水路が氾濫して日の出地区の農地と本町住民会地域の住宅街が被害に襲われた。町や消防、地域の人々の支援と協力により「土のう」1千590袋の設置と氾濫した水路の掘削によって被害は最小限で止めることができた。

し、平成32年度に完了予定である。

中村議員

事業規模と予算額は。

向山町長

道営防災減災事業として日の出排水路（1千870m）、西1線日の出排水路（1千11m）の同時着工、事業費は暫定で7億2千万円、町負担額は1億5千120万円である。

中村議員

事業完了が平成32年度と長期に渡るので、早期完了を求める要望は。また、完了までの防災減災対策は。

向山町長

1年でも早く精力的に要望活動が続ける。完成までの防災減災対策は常に頭に置いて取り組む。

それから4年が経過し、地域の皆様は安心安全に暮らすために排水路の早期改修を強く求めており、町長の見解を求める。

向山町長

町民皆様の安全安心な生活環境を確保することは最重要課題と認識し、排水路整備の早期の改善を国や北海道に要望を行い、平成27年度に北海道による基礎調査、平成28年度に改修に着手



本町5丁目に設置された「土のう」



栃木県茂木町の「ゆず」を使った商品の説明を受けるようす

総務産建常任委員会

平成 25 年 10 月から 13 回の委員会を開催し、「6 次産業化取り組みについて」「商工振興について」のテーマの中から「空き店舗対策等の取り組みについて」「ご当地キャラクターの活用について」を調査課題として現状把握や先進市町村行政調査を行いました。

6 次産業化の取り組み

6 次産業化の狙い

6 次産業化は地域資源を活用した農林漁業者などによる新事業の創出で、施策の展開と地産地消を総合的に推進することで農林漁業などの振興と食糧自給率の向上などを目的としています。

まとめ

国の補助や融資、特例措置などを受けるためには事業者が「加工」と「販売」を一体的に行う総合化事業計画を策定し、農林水産大臣の認定を受けなければなりません。

町の現状

平成 25 年度末で町では 2 事業者の取り組みが国の認定を受けており、東中地区の（有）多田農園ではにんじんジュースやピクルス、野菜入りおやきを製造し、販売しています。

また、静修地区の（有）興農社では小麦を使った乾麺の製造を行い、インターネット直売やフラノマルシェで販売しています。

このほかにも 5 団体が 6 次産業化に取り組んでいます。

ご当地キャラクターの活用

町の現状

平成 24 年に策定された上富良野町観光振興計画によって、平成 25 年から「ご当地キャラ」を制作し、上富良野町の魅力を PR するため「らべとん」が誕生しました。投票と選考委員によるデザインの選考や、名前の公募などが行われました。制作と利用はかみふらの十勝岳観光協会が行っています。

利用方法はイベントなどへの「着ぐるみ出演」や「各種紙面・商品パッケージなどへのキャラクターデザインの使用」の 2 種類があり、利用実績はテレビや町内外のイベントなどへの出演、町広報誌や名刺、ぬいぐるみなどキャラクター使用となっています。



茨城県茨城町の「ひぬ丸くん」

まとめ

町民も参画して誕生した「らべとん」ではあるものの、イベントなどへの「出演」ではなく、日常的に町内のおいしいお店や美しい景観など、小さい魅力から「らべとん」自身で情報を発信することが必要だと思われます。

また、「永遠の17歳の女の子」というキャラクター設定のため、着ぐるみに入るのも女性の方がより女性らしい所作ができるとは思います。

今後の大きな課題であり、グッズ製作のほか、地域の事業者が活用しやすい方策を検討していく必要があります。四季彩まつりや雪まつりなどで「らべとん」に集まる子ども達の笑顔が、ご当地キャラクターがいることの喜びを表しており、未永く町とともに「らべとん」が成長していくことを期待しています。



千葉県横芝光町のご当地キャラクターグッズ

空き店舗などへの取り組み

町の現状

町はこれまでも中心市街地や商店街の活性化、空き店舗対策などに取り組み、空き店舗を活用したコミュニティプラザや茶屋の運営やトイレ、駐車場や休憩場所の整備などを図ってきました。

平成25年度からは新規開業等支援事業が開始され、設備投資や運転資金、人材育成経費の事業費補助を行っています。実績は平成25年度2件、平成26年度は1件となっています。

まとめ

空き店舗対策として、平成22年度に緊急雇用創出推進事業で商店街空き店舗と商店街現況調査事業を実施し、詳細な調査が行われています。しか

し、「商店は廃業したが、店舗兼住宅に居住しているため店舗として貸し出すことは不向き。」などの意向が多く、店舗兼住宅として貸すことができるよう、廃業後の住居対策や、安心して賃貸できる仲介制度の創設、土地と建物を一括して売却できる環境づくり、不在地主や家主の調査、交渉などに早急な対応が必要です。

新規開業等支援事業の補助は3件で活用され、新規開業や事業拡大の実績を上げ、大変有効な制度となっています。

飲食店などで同一の店舗を昼と夜で違う経営者がシェアすることによってコストが削減できる営業形態へも対応できる制度の拡充があれば、より幅広い活用ができ、使いやすい制度になるのでは

ないか。

また、店を始めるにはハードルが高いという方に対しては「チャレンジショップ」のように試行

営業できる制度の創設も考えられ、空き店舗対策に限らず商工観光全般に事業者と商工会、行政が一層の連携を密に取りながら方策を研究し、実践することが望まれます。



栃木県茂木町にあるアンテナショップ

議会の窓



1月30日 総務産建・厚生文教常任委員会

合同委員会協議会

2月12日 総務産建・厚生文教常任委員会

合同委員会協議会

総務産建常任委員会

議会運営委員会

16日 厚生文教常任委員会

23日 総務産建常任委員会

議会運営委員会

25日 議会協議会

26日 議会広報特別委員会

3月3日 第1回定例会（1日目）

4日 第1回定例会（2日目）

議会協議会

議会運営委員会

10日 第1回定例会（3日目）

12日 予算特別委員会（1日目）

13日 予算特別委員会（2日目）

16日 予算特別委員会（3日目）

17日 予算特別委員会（4日目）

全員協議会

18日 第1回定例会（4日目）

議会広報特別委員会

4月8日 議会広報特別委員会

15日 議会広報特別委員会

◆全国町村議会議長会より

表彰されました

西村議長が議長在職7年、小野議員、村上議員、中村議員、岩崎議員、長谷川副議長が議員在職15年以上の議員活動の功績により表彰されました。



岩崎議員、長谷川副議長、村上議員



中村議員、西村議長、小野議員

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

6月15日（月）・16日（火）です！

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議事堂までお越しください。

お気軽にお越しください。

たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

—— お問い合わせ ——

上富良野町議会事務局 電話 ㊟6992

「町のひと」にインタビュー!!



諸星さんご夫妻
(神奈川県横浜市)

春から秋までの間のみ「シーズンステイ」として横浜から里仁地区に移住している諸星嘉明さん、三三子（みさこ）さんご夫妻にお話を伺いました。



シーズンステイの

目的は何ですか

私たち夫婦は旅行が好きで国内外を旅行しました。一番多く訪れたのが北海道で30回ほど来ました。横浜市に自宅もあるので、オールシーズンとはいかず、期間限定なら可能と考え、ガーデニングと畑作業をしてスロウライフを楽しんでいます。

なぜ上富良野の地を

選ばれたのですか

北海道生活の始まりは札幌（新川）を1年間、旭川で2年間、賃貸住宅での生活でした。都会生活の私たちは利便性もいけれど、心のよりどころの地を求めています。深山峠の売り物件の周囲を見ると、目前には十勝岳・旭岳の峰々が一望でき、人家も少なく静かで畑があり、草花もあり、

私たち夫婦には、うつつのロケーションでした。



畑を耕す三三子さん

深山峠の環境は

いかがですか

町内で3代目の農家さん夫婦とあるご縁で知り合いになり、農業の先生いや、今やお父さん、お母さんと呼ぶような関係となり、何かとアドバイスをいただくことで安心して暮らせるようになりました。里仁地区に住んでから今年で7年目、自

家菜園で採れた無農薬野菜を食卓に添えて食べることが健康維持に役立っています。

また、市街まで車で15分で行けるので、買い物もよし、人もよし、温泉もよし、いいこと尽くしです。物流がいいので魚介類も新鮮です。半住民ですが、地産地消の精神でこの先も近所付き合いをしながらかみふら野生活を送っていききたいと思っています。

行政に望むことは

ありますか

人口減少の歯止め策として現役世代の雇用の場の確保と商店街の空き店舗や戸建て住宅をリフォームして格安で提供するなど、移住しやすい環境づくりをしていくことが大事だと思います。

（インタビュー）

中村委員

あとがき

■長かった冬もすぎ、春の息吹が聞こえてきました。今年は例年になく雪の少ない冬でした。
■4年前の今頃は東日本大震災で日本中が騒然としていました。やっと復興の足音が高くなったものの、まだいろいろと難問が残っています。

■この議会だよりが出る頃には新規採用の方々も仕事に慣れたころでしょうか。私も30年ほど前には新入社員として仕事に臨んでいました。上司に厳しい指導を受け、右も左もわからないまま時に悩んだり、温かい言葉をかけられたりで夢中だったことを思い出します。

■いつの時代も国や地域にとって若者は宝物です。その無限の可能性を育て見守るのが私たちの仕事だと思います。まちづくりのバトンを若者たちに渡すために今現在の私たちが頑張らなければならないと痛切に思います。

（徳武 記）

議会広報特別委員会

委員長
副委員長
委員

村上 和子
中澤 良隆
佐川 典子
米沢 義英
徳武 良弘
中村 有秀